

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第34回】 自分の道場を建てる！(6)

道場設計の工夫(3)

前回に引き続き、道場設計の工夫について述べて参ります。

★メンホー掛け

養正館では、半数位の子たちが自分用のメンホーを購入しています。入門したばかりの子たちは、道場備え付けのメンホーを使っています。貸し出し用メンホーは48個あり、かなり場所を専有しますので、収納場所はよく考えなくてはなりません。最終的にたどり着いたのは、壁に金属性フックを取り付け、メンホーの後頭部の穴に引っ掛けると言う方法です。結局この方法が1番良かったです。

★窓ガラス、木製格子

低い位置の窓ガラスはペアガラス（防音・断熱）、合わせガラス（飛散防止）、ポリカーボネート板（飛散防止）の選択肢があります。強化ガラス（飛散防止）は普通のガラスの強度約4倍で、割れても粒状にな

るので安全ですが、大変高価です。養正館の全ての窓ガラスは、ガス充填のペアガラスにしました。2枚のガラスの間に空気層があります。その空気層にガス充填すれば、さらに防音効果が高まります。また、魔法瓶のような断熱効果もあり、エアコンの効きが良くなります。

しかしながら、普通に割れますので、低い位置の窓ガラスの前には、けんどん式^{*}の木製格子をつけました。窓の前に防護壁を置くという感じです。枠ごと外すことができるので、下部の溝（サッシ）の掃除も楽です。写真左の格子は、はずした場合です。これで、防音、断熱、飛散防止の三拍子がそろったことになります。

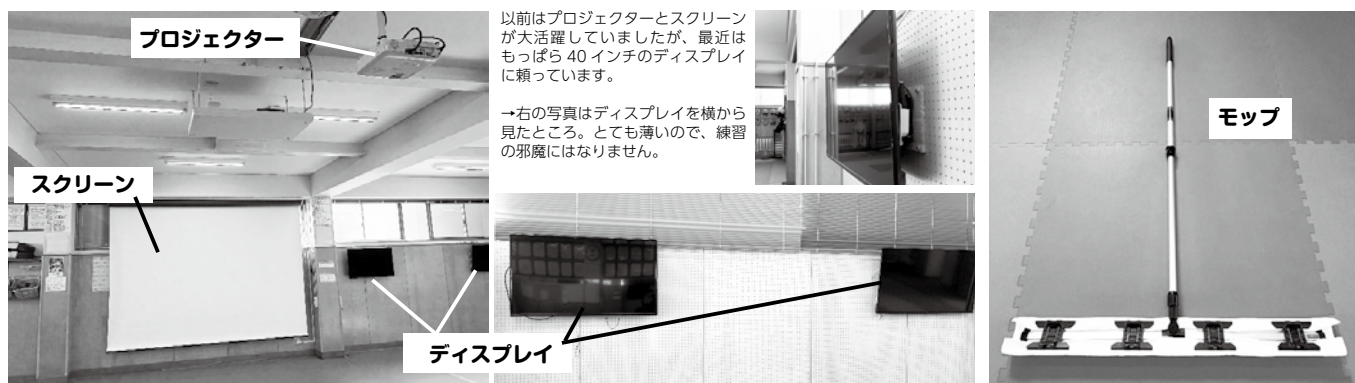
遮光したい時もありますので、すべての窓枠にブラインドを設置しました。ロールカーテンと迷いましたが、光量を微調整でき、しかも換気のできるブラインドでよかったと思います。ただ、ロールカーテンに比べて掃除が面倒だというデメリットがあります（写真左はブラインドを上げた状態）。

★業務用のエアコン

次に、空調ですが、業務用の巨大なエアコンを二台設置しております。道場が広いので、二台ないと夏は完全に涼しくなりません。冬はアップすれば何とか体が暖かくなりますが、夏は冷房がないとすぐに熱中症のようになってしまいますので、これからの時代はエアコン、特にクーラーは必須となってくるでしょう。春や秋などは、エアコンを使う必要がないので、先月号で紹介しました大型扇風機ツインファンを使っています。



*けんどん式とは、上下の溝に板をはめ込み、はずすときは上に持ち上げて手前に引くことで簡単に着脱できる工法です。道場の名前の木札などにも採用されているかと思います。



★プロジェクター、スクリーン、ディスプレイ

今までプロジェクターと巨大スクリーンを使ってきましたが、最近では出番がめっきり減っております。2年前に40インチのディスプレイを2台設置しまして、1台はインターネットにつながっているのでもYouTubeの空手動画を観ることができます。インターネットにつながっていないディスプレイは、子供たちの形をスマホで撮影して、ケーブルでつないで自分の姿を見せています。

低学年は素直に指導者の意見を聞いてくれますが、高学年はそう簡単にはいきません。近頃の高学年の中には、しつこく修正するとへそを曲げてしまう子がいます。褒めながらご機嫌をとりながら、かつ修正点に気付かせるのは至難の業です。しかしながら、この方法で自分の姿を見せ自分で気づかせると前向きに修正するようになります。自立を促すこともできるので、おすすめです。

★マットの掃除の仕方

マットの掃除の仕方ですが、子供たちで雑巾を使って拭いたり、マット全面を掃除機をかけたりしているかと思います。30秒以内に2コート分の掃除を1人で終わらせる方法があります。しかも掃除機よりもきれいになります。

まず、長い雑巾を固定できる横幅90cm程度の大きなモップを購入してください。雑巾を横幅95～100cm程度にすれば、ちょうどマット1枚分の幅を4往復程度で終了です。湿式ですので、髪の毛、細かい泥、ほこりなども全て雑巾がキャッチしてくれます。拭き取った後は、掃除機をかける必要もありません。バケツで雑巾を洗うと、驚くほどたくさんの泥や髪の毛が吸着しているのがわかります。

お勧めのモップは「テラモト ライトモップ90cm」、お勧めの雑巾は「ライトモップ湿乾クロス90」です。写真のように、この雑巾は90cm強ありますので、ちょうどマット1枚幅を拭けます。マット掃除用のモップはこれ一択です。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄（父）に師事。

2001年に父の道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。



空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12

Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるオススメ本！（第30回）

■サイモン・シン著 『フェルマーの最終定理』★★★★☆

第30回記念の閑話休題として、数学の証明の話を取り上げます。難しい数式は出てきませんのでご安心ください。

1637年頃、フェルマーは「 $x^n + y^n = z^n$ の3つ組数は存在しない。私はこの命題の証明を既に持っているが、余白が狭いのでここに記すことはできない」と思わせぶりに記述しています。数学史における最難問の証明として、多くの数学者が証明に挑みましたが、誰一人成功しませんでした。350年後に、ようやくワイルズによって完全な証明に成功しますが、この350年間に得られたありとあらゆる知見・定理を駆使して、最終的に100ページを超える論文となりました。もし、本当にフェルマー

が1600年代に証明に成功していたなら（疑う訳ではありませんが）、当時のまだ数少ない知見・定理のみを使っただけの証明ということになり、かなりシンプルなものだったと思われます。いったいどんな証明だったのだろうかと思われたい。他にも、不運な天才数学者ガロアが死を覚悟した決闘前夜に書きなぐった壮絶な自筆の紙きれ、「4以上の全ての偶数は2つの素数の和で表される」などの魅力的な数の世界、気が付くと数学の世界にどっぷり浸かっている自分に気がきます。高校のとき、あれほど嫌いだった数学、もう一度やり直してみたいと思わせる1冊となりました。最近は数学のYouTubeを観ています。